授業科目名	日本語教育演習Ⅰ	単位数	1
担当教員名	中野二郎（なかのじろう）	担当形態	単独
実務内容 （実務家教員の場合）	日本語ノンネイティブに日本語を教える立場、日本語教員（或いは教員を目指すもの）に音声指導法を教授する。		

「学位授与の方針」との関係

多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。

授業の到達目標及びテーマ

（１） 授業のデザイン、練習方法など実際に授業を行うための具体的な手法を学び、教育実習に臨む準備を整える。

（２） 音声言語の特徴を知り、技能別（会話、聴解、発音）に教授の際に必要な技術や考え方を共有する。

（３） 日本語教育における初級と中上級の違いを概観し、授業を実施する際の留意点を知る。

（４） 教育実習に向けて、初級文型の導入・練習の方法を知るだけではなく、実践して各自学びを得る。

授業の概要

日本語教育関連科目（特に「日本語教授法」）で学んだ知識に基づき、実際に授業を実施するための手法を学ぶ。初級レベルはもちろん、中級レベル以上の音声言語に関わる科目（会話、発音、聴解）で学習者のレベル、ニーズ、クラスサイズ等の条件を想定しながら授業デザインのシミュレーションを行う。教師からの示唆もあるが、受講者自身の考察やグループワークを通しての気づきなどを重視して授業を進める。また、教育実習に向けて、授業の計画（教案の書き方)、授業の進め方を学び、実際にやってみる。

関連科目：「日本語教授法」を履修しスクーリング受講していること。「日本語教育」、「言語学」、「日本語教授法」、「日本語学（1)」が関連する。

この科目学修後に「日本語教育実習」を履修することを前提とする。

授業計画

１）事前学習①　「音声言語」と「文字言語」の違いについて調べ、考えを整理してくる。
　事前学習②指定する用語について理解を深め、他者に説明できるようにしておく。

２）スクーリング１日目（第１回～第８回）
　スクーリング２日目（第９回～第１５回）

３）科目修得試験（課題形式）

※スクーリングの内容については「スクーリングでの学修内容」を参照のこと。

スクーリングでの学修内容

（１日目）

　　ガイダンス（この授業の目的と心構えを確認）

第１回　アイスブレーキング１

　　「音声言語」と「文字言語」の違いについてグループで話して発表。

第２回　用語の整理：この授業で用いるキーワードについて、理解を深める。

第３回～第４回「会話を教える」解説＆タスク

第５回～第６回　「各種練習の指導」解説＆タスク 第７回～第８回　授業デザイン１『みんなの日本語　初級 1』某課で実践練習 （２日目） 　　Ｉ日目の実践に対するフィードバック 第９回～Ｉ０回「中級レベルの教育」解説＆タスク 第ＩＩ回～Ｉ２回　「コミュニケーション能力を育てる指導」解説＆タスク 第Ｉ３回～Ｉ４回　授業デザインⅡ　『みんなの日本語　初級 1』某課で実践練習 第Ｉ５回　２日間のふりかえり　グループで話した後成果を全体で共有 ※両日ともアクティブラーニングの手法を用いて実施
教科書 （Ｉ）『新・はじめての日本語教育２　増補改訂版』アスク出版 （２）『みんなの日本語初級Ｉ　本冊　第２版　』スリーエーネットワーク
参考文献 （Ｉ）『発音を教える』国際交流基金、『話すことを教える』国際交流基金 （２）『聞くことを教える』国際交流基金、『まるごと　入門』国際交流基金
学生に対する評価 スクーリング評価（５０％)、科目修得試験（５０％）を総合して評価する。